[第102回河北潟一周駅伝競走大会の抗議について]

昨年令和5年11月23日に開催した第102回河北潟一周駅伝競走大会において、大会ルールの違反があった事に対し、大会終了約3週間が経過した頃に、石川陸協に匿名で抗議文が寄せられました。

(抗議内容について)

- ・申し込み後の走者順の変更は認めない。
- ・選手変更は、補欠からのみ認める。
- ・また、補欠との変更は、該当区間のみとする。

と記載があるのに対し、第3部(高校の部)で優勝した金沢学院高校が当日走順入れ替えして競技に出場しました。

この事実確認と、本当であれば順位の入れ替えをするべきではないかとの内容です。

(選手変更の当日の対応について)

選手変更届提出の際に、

- (1)補欠も含め病欠によりエントリーにない選手を起用した→2 チーム
- (2) 走順の入れ替えをした→1 チーム
- の申し出があり、やむを得ない理由と言う事で主催者側はこれを認めました。

これらのチームの結果取り扱いについては、スタート時間が迫っていたため、協議する時間が終始取れず、 そのままスタート・ゴール・結果発表となりました。

(今回の抗議の対応について)

「競技上の注意」として、"本大会は 2023 年度日本陸上競技連盟競技規則、駅伝競走基準、および本大会の申し合わせ事項に基づいて競技を行う"と告知しており、すべての競技者(チーム)にとって公平な競技運営という原則に鑑みた場合、金沢学院高校の優勝を取り消すべきではないかとの意見もあり、運営側で協議致しました。

日本陸連競技規則に則れば、抗議または異議申し立てがある場合は、競技終了後または結果の発表後30分以内に当人またはその代理人もしくは監督者が大会本部 (総務) に申し出るのが原則ですが、今回は競技会が終了後、約3週間が経過した後、匿名の第三者による一方的なクレームになります。この抗議は「誰が」「どの立ち位置での」抗議なのか、という責任の所在があいまいとなっています。

実際に高校の部2位以下のチームの監督からの抗議の申告はされておらず、また大会はすでに成立している事から、本件の抗議についてはこれ以降一切取り扱わないものとさせて頂きます。

(今後の対応について)

今回は区間変更を認めた運営側に落ち度があり、物議を醸し出してしまった件につきまて、お詫び申し上げます。報告が遅れました事も、誠に申し訳ございませんでした。

次回大会以降、ルール見直しや周知徹底を行い、参加する全競技者にとって公平であるよう、しっかりと した大会運営を実施していく所存です。

ご理解の程、何卒よろしくお願い申し上げます。